

なんたろ星

N a n t a r u H o s h i

ナイス害

はだし

恋をしている

迂回

スコラブ



September 2014

月号

【目次】

連作

「無理」・・・・・・・・・・はだし

「妖怪ウォッチ」・・・・・・・・・・ナイス害

「すらすらと愛の言葉は」・・・・・・・・・・恋をしている

「SOSハッピーピープル」・・・・・・・・・・スコラブ

「Program」・・・・・・・・・・迂回

教えて！なんたる先星！

編集後記

無理 はだし

フジテレビ以外うつらない世界へ夏の終わりの台風がくる

海に近い床屋のことを考えてそれをぶち壊す時のニュース

下駄履きのおんなのひとが駆けていくプレステだったものを抱えて

夕方の眼科の駐車スペースはやさしい広さ 鎖をまたぐ

足のうらにテーブルの脚あたってる こぼれそう、こぼれそう麦茶が

くすりゆびへゼロハンテープ押し当てる ひかりに透けるさっきのわたし

もっちゃんが坂本くんとよばれてる教室を出てひとり帰る

自転車のカゴにギターのパート譜もわたしのかばんも沿ってくしゃくしゃ

スピード写真みんな撮った時みたい 遠くで雷が鳴ってる

妖怪ウオッチ

ナイス害

川沿いの近道途中に座ってる天狗はきつとタメだと思ふ

斜に構えオヤジに贈る感謝のラップ俺が鬼太郎のケバリ

水性の月は雲間に溶けていきババアは砂に涙を落とす

芋煮会 ねずみ男の母親も来るといふから「いいねー」を押しした

午前2時ロイヤルホストで唱え出す【ぬりかべは皆パイパンだ説】

冷たいね名前で呼んでくれないね 猫だからって、ガキだからって

すらすらと愛の言葉は

恋をしている

童貞が月夜のスターボックスで彼女に席を見つけてもらおう
力こぶなり損ないの筋肉をもんで彼女は次の話へ

おしつこが放射状だと愛してた時間が長い長い気がした

きんたまを触ればきつと思いつ砂漠にテトラポットのなごり

たいせつな殺人鬼たちウオシレット強、宇宙強、来世強

運の自動販売機あり運が出て取り出す時に吹く地球風

「あなたには男を感じない」俺も卓球部に汗を感じない

「ガリガリのヤンキー二名二名たとよりガリガリのヤンキー二名

ババアから英語を聞いたことだけがひと夏のアバンチュールだったぜ

不死鳥に見えなくもない痣みせて東京でサッカーをやるろうよ

SOSハッピーピープル スコアブ

満月をモニター越しに見ています肉眼よりもおおきいものを

貝柱の写真がアップされました「わたしもこうありたい」はいらない

ゆかさんのリアルタイムの変顔が更新されるいま丑三つ

わからないくにのことはわからない野菜炒めに似たのを待ってる

左でも右でも来いと言ったけど同時はないから命返して

にんげんは悲しむふりをしていたいLEDをちかちかさせる

青葉城の政宗公に見下ろされ片目つむつたあの子も母親

ボウリング球は順番守っては元気に部屋を飛び出す、えらいね

□□□□なわたしを○○でぶたないでますます□□□□になってゆくだけ

パラレルな世界のほくもレモンガム噛んで酸っぱい顔をしている

Program 迂回

宝石の名前のことばで話す人の前きらめく黒いメモ帳

産声であるとするなら僕達も言ってたかもね Hello World

暗黙の型変換で通いあう体と体 致命的なエラー

哺乳類を継承して人間にするには何を実装するの

わけもなく触れてたい夜 ? 触れてみる : 余ったセロリ乾かしてみる

/* ころには取り込まれない文字ならば愛とか語っちゃってもいいか */

```
while(はんぶんこ){  
    while(したチョコレート){  
        while(おぼえてる){  
            へこむあなたとチューハイを飲む  
        }  
    }  
}
```

不可逆な別離の言葉をドーナツに換えたあいつの糖衣構文

教えて！なんたる先星！

～現代でも分かるように言うとどういう意味なんだろう？～

白鳥は悲しからずや空の青海のあをにもそまずただよふ
(若山牧水)



全国一億数星人の皆さまこんばんは、9月号表紙の私です。
今回は特別企画として、短歌に関して無知な私になんたる星の方々が名歌の解説をしてくださるということで、やって参りました。私だけだと心細いので本日はゲストもお呼びしております。創刊号表紙の女の子です。

こんばんは～創刊号ぶりに登場しました、「字がめっちゃ汚いけど心はこもってるのわかる」とよく言われるでおなじみのアタシです！今日は「短歌？マジ定型だから。どやっ」みたいな顔ができるようになりたいと思って来ました、よろしくお願いします！



元気な自己紹介ありがとうございます。私たち二人ともせっかく短歌結社の雑誌で表紙をやらせてもらってるのに短歌を知らなかったんですよ。

「白鳥や悲しからずや空の青海のあをにもそまずただよふ」(若山牧水)

今回採りあげるこの短歌もすごく有名な歌らしいんだけど意味はさっぱり分からないです。なんとなく白鳥が悲しいのかな？とかしか言えないんだけど、これをなんたる星のみなさんが私たちでも分かるように現代風に訳してくれてるみたいなので早速見ていきましょう！

よろしく星のみなさん！かなた、かなた、かなた、かなた、かなた、かなた、かなた
.....



は
だ
し

檀 れ い



檀れい！？うそ、これだけの文字数をついやして言いたいことが「金麦を冷やして待っていることが家事のすべてだと思っているおばさん」の名前だなんて！でも確かに空とか海とか爽やかな感じが檀れいさんっぽいからなー。昔から思ってたけど「檀れい」さんってちょっと聞き間違ると「淡麗」って聞こえるから、常に他社を宣伝してしまう危険性を持ち合わせているところが可愛いよね。

LAWSON 集合で



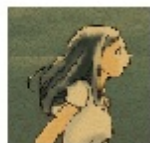
集合場所のことを言っていたんですね。白鳥と海・空の青のコントラストがちょうどローソンと一緒にだからすごく分かりやすいメッセージですね。若山さんはでもローソンのことをちゃんと「LAWSON」つて言って神経が細かい方なのでしょうか。でもその割にはどこのローソンなのか分からないから誰も集合できませんね。あとでお友達に「若山なにやってんだし（笑）」とか言われながらふざけて「ボクスイ拳」というオリジナルの殴りをさせていただきますね。

やくみつるはいつも
文化人チームにいるけど
俺は違うと思う



感情が出まくってるね！でも私もちょっとそういうのは思うことあるから、少し共感できるかも。やくみつるさんは確かにクイズ番組とかでいつも「文化人チーム」にいるけど、あの人自体何をやってる人なのかよくわかんないし、というかそもそも「文化人」っていう枠がまずなんか「違うと思う」よね。ポックンは結構テレビっ子だねー！私は大学に入って一人暮らしになってからあんまり見なくなったけど、「美の巨人たち」だけはいまでも見ちゃうな～

朝スツキリ起きられる ライフハック10選



どこかでお目にかかったことのあるような見出しです。「男がぐっとくる女性の仕草10選」とか恥ずかしながら私も見たことがあります。ライフハックって私ぜんぜん分からないけど、なんかカッコイイ言葉だからきっと若山さんも言ってみたかったんでしょうね。たぶん3つくらいで「ギブ」とか言ってしまうんじゃないかな。で、お友達に「若山なにやってんだし(笑)」とか言われながらふざけて「ボクスイ拳」というオリジナルの殴りをされてちょっと今回は本当に痛かったけど「強すぎ」とか言って笑ってくれますね。

恋をしている

「ご迷惑をおかけしておりますが
わたくし若山はこのたび
「連続冷凍おかし すすめ」
を開発いたしました。
ボクスイ、ボクスイ。
ありがとうございますっ
たっ



長いうえにうざい。牧水という面白い名前にすぐ飛びついて安易に後半2回連呼するという極めて単純な笑いの取り方をしている。「白鳥」と来ているのに対してお菓子の名前に「すすめ」という別の鳥類を持ってくるのもセンスがない。ここまで発想を飛躍させたポケにするのならば、鳥とももちろんお菓子にもあてはまらないような単語を持ってくるべき。全体的にめちゃくちゃやって勢いで笑わそうとしている風を装っているが、実際は「ご迷惑をおかけしておりますが」や「ありがとうございますっ！」のような不安になってさらにとってつけたようなセーフティネットのような言葉が散見しており、非常に慎重に考えたのが感じられる。ダサく面白味がない。



えーということで、皆さんに若山さんの短歌をひも解いていただいたんですが……なんというか、分かったような分からないような感じでしたね
創刊号ちゃんはどうでしたでしょうか？

すごく勉強になりましたー！ 檀れいとコンビニ集合でやくみつるに疑問を感じながら
ライフハック10選を選んでいる歌っていうことですよ！ 若山さんは歌人らしく複雑な感情をうまく31文字であらわしてすごいなー



それだけ聞くと若山さん本当にガンパって感じですが、実際はもっと素敵な意味があるので、みなさん自分自身の目で確かめていただければと思います。なんたる星たちの解釈はちょっとなんというか、特殊だと思いますので…
ところで、創刊号ちゃん

はい、何でしょうか！？ 辻仁成さんのトークライブに行ったら整形に対して真面目な意見ばかり喋っててあんまりおもしろくなかった話とかかな？



いえ、それも大変興味がありますが違いますね。
なんか恋をしているさんの時だけその人格が変わったようなコメントをしていたので、どうしたのかなーと思ったんですが……

あれに対してはまだ言いたいことがあって、そもそもこれは短歌の現代語訳という体裁で行われたいわば大喜利の企画であるにも関わらず通常の大喜利の回答とかなりかけ離れたことを言ってきて企画の意図からかなり外れていてあまつさえこのお題自体自分で考えたくせに回答を考えるのは遅いは最終的にあんな投げっぱなしみたいなボケしか出てこないようじゃもう終わってるとしか……



……今日はこの辺でお別れにしましょうか。
みなさん今後ともなんたる星をよろしくお願い致します。では、また次の星で。

【編集後記】

「星野」と駅名に表示されてからもう一時間は経っていた。
途中何度か速度が遅くなりかけて「そろそろ」と思うとまたスピードを上げ、いつまでもこの列車は止まらない。30分を過ぎたあたりから目の前で寝ていたサラリーマンはくじらになり、また20分が過ぎると優先席に座っていた女子高生は紅葉に変わっていた。いまこの列車には僕と、あともう一人うずまきのキャンディーを手に持って僕の前に立つ男の子がいるだけだ。

「もうすぐ着くかな」と僕はきいてみた

「ほしの」とその子は言った。駅の名を言ったのか、それともその子の名前なのか僕にはわからない。

「このまま着かなかつたら僕は困るな。行きたい場所があったんだ、確か」ああ、でも言いながら僕はそれはここだったんじゃないかという気もしている。男の子は僕に向かってグッとうずまきのキャンディーを差し出す。と瞬間、僕は自宅のベッドで目を覚ました。朝の6時、起床時間。

「おはようございます、今日も正義の味方がやってきます。お箸をちゃんと持って待っていきましょう」

子供の頃を買ってもらった喋る目覚まし時計がそう、ハッキリと告げてくれた。

2014 9/4 恋をしている

Say 星しましたあなたには、これでもう橋のかけらも捨てられるわ——

執筆者

迂回 ([@ukaian](#))

はだし ([@sunsetsan0](#))

ナイス害 ([@NiceGuuuy](#))

スコラブ ([@scope_scape](#))

恋をしている ([@yayoikenumai](#))

なんたる星9月号

発行日：2014年9月4日

編集発行人：恋をしている

表紙絵：スコラブ

Twitter：[@nantaruhoshi](#)

Mail：nantaruhoshi@excite.co.jp